



教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507
<http://catholic-kofu.com>
発行 甲府カトリック教会広報委員会

神父のつぶやき

カトリック甲府・塩山教会
主任司祭 白木 信一

新型コロナウイルス感染拡大による感染予防のために、7月から主日ミサを再開したものの、4月から主日ミサが通常に行われていない状況が続いている。教会に限らず、世の中のいろいろな多くの場面で日常が変化させられている。一日でも早く日常を取り戻したいと多くの方々が願っていることだろう。

しかしながら、依然と全く変わらない日常を取り戻すことができなくなっている方々が、一方にはいらっしやる。老舗の旅館が廃業したり、人気の飲食店が閉店したり、また職を失ってしまったりと、感染が収まったとしても元の生活に戻ることができない。そういう方々は、新たな人生設計を立てなくてはならない状況に置かれてしまった。



ウイルス感染の影響だけではなく、自然災害により日常生活を崩壊させられた方々もいらっしやる。東日本大震災による被災者の方々もそうだが、7月上旬には大雨により熊本県の球磨川が氾濫して住居を破壊している。そのほかにも水害により、甚大な被害が報道されている。避難生活にしても、コロナウイルス感染の予防もしなくてはならず、避難生活のあり方自体もこれまで同様というわけにはいなくなっている。

これまで当たり前で当然のように思われていた日常、普段の生活、あるいは平凡な生活がいとも簡単に破壊されてしまう。こういうときに初めて普通に日常生活を過ごせることのありがたさを改めて知るのはないだろうか。

そもそも地球上に住む人間は自ら自分たちのために地球を創造したわけではなく、すべて人間に都合よくなるわけではない。この地球には地震もあれば津波もある。大雨が降ると土砂災害の危険もある。また火山の噴火もあり、恒常的に安全に心地よく生活できるという確実な保障があるというわけではない。しかも、目に見えない細菌やウイルスにより健康被害にあうこともある。こういうことを考えると、安全に健康に過ごせることが必ずしも当たり前ということではないことを、痛烈に思い知らされる。

万物の創造主であり三位の神さまを信じる我々キリスト者は、こういう状況の中でも、人について、いのちについて、人生について、社会について神さまの目線でしっかりと捉え、神さまへの感謝のうちに過ごせているだろうか。ご自分に似せて人を創造された神さまは、人々の、また人類の痛みをよくご存知で共感されていることを、我々は知っている。新型コロナウイルス感染の終息を祈りつつ、我々にできることをしっかりできるよう努めながら、希望のうちにこの難関を乗り越えていこう。

お知らせ（8月）

1. 7月11日(土) 山城ブロック ヨゼフ鬼塚 俊彦様(89歳)の葬儀ミサが行われました。鬼塚 俊彦様の永遠の安息を、お祈りください。
2. 7月22日(西ブロック アウグスチノ小野 昭二様(93歳) 帰天されました。小野 昭二様の永遠の安息を、お祈りください。なお、8月1日(土) 西ブロックが中心となり追悼ミサが行われました。
3. 8月15日(土)の聖母の被昇天のミサは、中止いたします。みなさまご自宅でお祈り下さい
4. 9月20日(日)に予定しておりました敬老の集いは、中止いたします。該当する方々には、9月中の各ブロックのミサの際に神父様より祝福と記念品の贈呈がございます。(欠席なされた方には、追って郵送いたします。)

5. 地域福祉委員会

8月2日(日) 13時から15時まで、サンタルチア講堂で、2020年度第2回地域福祉委員会を開催しますので、委員の皆さまのご参加をお願い致します。

なお、参加される委員はコロナウイルス感染予防のため、マスク着用をお願い致します。また、ご体調等をご配慮の上、ご無理のない範囲でご参加をお願い致します。

6. 青少年育成委員会

8月18(火) 10:00~ センター1Fにて青少年育成委員会を行います。

7. 回勅回勅「ラウダート・シ」をめぐる特別年へのご協力のお願い

フランシスコ教皇様は、地球と貧しい人々の叫びへの関心を喚起するために回勅「ラウダート・シ」を出されました。これに関連して、2020年5月24日から来年2021年5月24日までを、回勅「ラウダート・シ」の特別年に定め、わたしたちの「共通の家」と最も弱い立場にある兄弟姉妹たちの保護に取り組むよう呼びかけられた。そして、教皇はこの特別年のために作られた祈りを唱えるように次の祈りを勧められました。当教会は、この祈りと併せて、今般の未曾有の豪雨による熊本方面を中心として尊い命が70名を超え失われた悲しみと、被害にあわれた方々への慈しみ深い神の助けを祈り、この惨禍が、今回勅に示唆されていますように私たちの生活が地球温暖化をもたらす海水温の上昇による水分の蒸発が豪雨をもたらしました。

私達は、この人間の仕業が地球環境を破壊し、多くの尊い命を奪ったことへの回心と償いとして次のことを行いたいと思っておりますのでご協力をお願い致します。

- 特別年の2021年5月4日までを償いの期間として。教皇様のお勧めされた祈りと償いの献金を行います。

(献金の方法)

① 主日のミサの中で「ラウダート・シ特別献金」と表示された献金箱に献金する。(当日のミサのブロック長はお手数でも主日の献金とともに白木神父様にお渡しください。)

②指定銀行口座への振り込み
銀行口座

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

(宗)カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

代表 白木信一

通信欄に「ラウダート・シ特別献金」とご記入くださいますようお願い致します。

・献金先：国内外で不幸にして甚大な災害が発生した地域の教会等献金受付機関にお贈り致します。

(今回 8月末までの献金は、熊本集中豪雨被災者に贈ります。)

8. 関係団体などからのお知らせ

(1)NPO法人こどもサポートやまなし

①運営委員会

8月18日(火)18時30分より、サンタルチア講堂で行います。

②学習会

今月の学習会は、8月9日(日)及び8月23日(日)の13時30分より山梨カトリック福祉センターで行います。

主日ミサについて

6月より、ブロック単位でのミサへの参加が始まりました。申し訳ございませんが、講堂で人数

制限をしてミサを行いますので、くれぐれも、ご自分の所属ブロック以外のミサへの参加は、

ご遠慮下さい。体調の悪い方 新型肺炎感染が心配な方は、無理をしないでください。外国籍(韓

国、フィリピン、ベトナム、ブラジル、スペイン語グループ)の方も居住地

のブロックのミサに参加してください。(ミサ終了後、聖堂とサンタルチア講堂、外トイレ、セ

ンターの清掃を行います)

8月・9月 主日ミサ 該当ブロック表

8月				
年間第 18 週主日	8月 2日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	西ブロック
年間第 19 週主日	8月 9日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	東・南ブロック
※8月15日(土)の聖母の被昇天のミサは、中止いたします。みなさまお家でお祈り下さい				
年間第 20 週主日	8月 16日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	山城・峡南ブロック
年間第 21 週主日	8月 23日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	中央・北ブロック
年間第 22 週主日	8月 30日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	子どものミサ (予定)
9月				
年間第 23 週主日	9月 6日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	西ブロック
年間第 24 週主日	9月 13日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	東・南ブロック
年間第 25 週主日	9月 20日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	山城・峡南ブロック
年間第 26 週主日	9月 27日 (日)	10:30~	サンタル チア講堂	中央・北ブロック

・留意すべき点

- ・必ずマスクを着用してください・アルコールによる消毒を行います

・その他

- ・参加当日の体温が37℃以上である場合は参加をお控えください
- ・ミサ献金は、献金箱に入れてください
- ・月定献金は、所属のブロック長にお渡しください。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策ですので皆さまの

ご理解とご協力をお願いいたします。

《地球と人類のための共通の祈り》

慈愛あふれる神よ、
天と地と、そこにあるすべてのものの創造主よ。
わたしたちの精神を広げ、
わたしたちの心に触れてください。
わたしたちがあなたの贈り物である
被造物の一部でいられるように。
この困難の時、
最も貧しく、最も弱い人たちをはじめとする、
困窮した人々のそばにいてください。
世界規模のこのパンデミックの影響に立ち向かう中、
わたしたちが創造的な連帯を示せるようお助けください。
共通善の追求に向かって、
変化を受け入れる勇気をわたしたちにお与えください。
今まさに、わたしたちは、皆が相互につながり、
相互に依存していることを感じています。
地球と貧しい人々の叫びに、
わたしたちが耳を傾けることができるようにしてください。
この現在の苦しみが、
より兄弟愛に満ち、持続可能な世界を築くための
産みの苦しみでありますように。
扶助者マリアの愛に満ちた眼差しのもと、
わたしたちの主キリストによってあなたに祈ります。
アーメン。

